

3県溶接協会で表彰式

第1部優勝は松岡・梅津選手

神奈川県溶接協会

神奈川県溶接協会(村上秀夫会長)は9月8日、川崎市川崎区の日本溶接技術センターで平成23年度第54回神奈川県溶接技術コンクール表彰式を開催した。被覆アーク溶接第一部は松岡達也選手(富士電機)、炭酸ガスアーク溶接第一部は梅津茂雄選手(東芝京浜事業所)が優勝、2位の藤原久選手(日立横浜第一工場)、藤田智大選手(富士電機)、炭酸ガス(アーク)を加えた4人が県代表として10月の全国溶接技術競技会に出場する。



(左から)優勝した松岡、梅津、田中、竹下選手

松岡選手(21)は、3回目の県コンクール出場で初の栄冠獲得にめざり、「表彰式に出席してまうやく実感がありました。溶接歴は4年、本務に明け暮りながら練習し、成果を出したい」と抱負を述べた。

「結果を聞いたときは本当かなと驚いた」という梅津選手は、県コンクール初出場で初優勝を飾った。溶接に携わって10年めで迎える全国溶接技術競技会については、「県コンクールと同様に自分のベストを發揮できれば、結果はいいんじゃないかな」と語った。

協会独自部門の第二部は、関島工業の竹下寛亮(アーク)、田中由雄(炭酸ガス)両選手が優勝した。

主催者挨拶に立った原商工労働局産業部産業技術課の山本実樹副課長は、溶接技能の継承・向上を支援する方針を示し、後継者育成に尽力して

ほしい」と述べた。村上会長は「じつは全国優勝から遠かったものの、ぜひとも優勝旗を神奈川へ持って帰るようがんばってほしい」と県代表選手を激励した。

審査委員長の大家康男(県産業技術センター所長)は、審査結果にあたり第一部に出場した中小企業選手の活躍を紹介し、「全体的な技術のレベルアップ、裾野の広がりを示すものであり主催者として喜んでいる」

来賓挨拶では、春日井孝昌・日本溶接協会東部地区溶接技術検定委員会委員長が、同地区から全国溶接技術会に各種目12人の選手が出場することに触れ、「東部で12位を独占したらどうか。大変な努力が必要になるが、もし実現したら素晴らしい努力になる」とエールを送った。

第54回コンクールの受賞企業・選手は次の通り(敬称略、カッコ内は所属)

◎団体賞/県知事賞

▽8位/徳島県以下
関・林成光(トクモエ)シニアリーグ▽9位
鈴木康太(宝塚精工)

▽10位/田井直樹(東急車輦製造)▽11位/山本潤(全原冷熱システム)

▽12位/新藤保太(東芝東西製業所)▽13位/坂口和弘(愛知湘南エレック)

▽14位/栗原誠(三田工業所)▽15位/佐々木誠二(東急車輦製造)

【被覆アーク溶接第二部】▽優勝/優良賞/検定委員長賞/産報賞/竹下寛亮

【炭酸ガスアーク溶接第一部】▽優勝/県知事賞/優良賞/検定委員長賞/産報賞/田中由雄▽2位/優秀賞/宮田陽史(東急車輦製造)▽3位

【炭酸ガスアーク溶接第一部】▽優勝/県知事賞/優良賞/検定委員長賞/産報賞/梅津茂雄▽2位/優秀賞/以下7位賞/藤原智大▽3位

【鈴木耕久(東芝京浜第一工場)▽4位/山口浩二(東急車輦製造)▽5位

【炭酸ガスアーク溶接第二部】▽優勝/優良賞/検定委員長賞/産報賞/藤原久▽3位

【優良賞、以下同】草間良太(東芝京浜製業所)▽4位/平尾亨(同)

▽5位/戸塚孝(東洋鋼管)▽6位/三島嘉徳(富士電機)▽7位/佐藤誠之(日立横浜第一工場)▽8位/古川卓也(新興フランチック)

【炭酸ガスアーク溶接第一部】▽優勝/県知事賞/優良賞/検定委員長賞/産報賞/梅津茂雄▽2位/優秀賞/以下7位賞/藤原智大▽3位

【鈴木耕久(東芝京浜第一工場)▽4位/山口浩二(東急車輦製造)▽5位